

3年生は、約1ヶ月後の共通テストに向けて追い込みの時期を迎えました。年が明けると、2年生は3年0学期、1年生は2年0学期ともいうべき3学期がはじまります。将来を見据え、自分の個性や能力を最大限に生かす進路を考え、その実現のために残された高校生活をどう過ごすかをしっかりと考えましょう。それが自分への最大のクリスマスプレゼントです。

【3年生…共通テストにむけてラストスパート】共通テストまで約1ヶ月、気をつけるべきことは？

心身のコンディションを整える。



- ★就寝時間 (22時～23時)・起床時間を固定し、睡眠時間を確保しましょう。
 - ★年末年始も同じリズムで。除夜の鐘を聴いている場合ではありません。夜更かしは厳禁！しっかり朝型をキープしましょう。
 - ★【手洗い・うがいの励行。マスクをつける。人ごみを避ける】…例年よりも、しっかりと!!
- インフルエンザの予防接種も含め、風邪をひかないように万全の対策を。それでもひいてしまったら、しっかり休養をとってこじらせないようにしましょう。

- ★ストレスを感じたら、散歩や軽いジョギングなどの運動で解消しましょう。
- ★入試では、失敗しても落ち着いて平常心で取り組むことが肝心。自分は駄目と落ち込んでいる時間はありません。得意分野を振り返って自信を持った上で、失敗はあり得ると想定して何があっても慌てないようにしましょう。

平常心で学習にとりくむ

- ☆共通テストの問題を本番の時間通りに解く。…時間配分、解く順などの作戦も考えましょう。
- ☆新しいことや、難しすぎる問題に取り組まず、基礎事項の確認、これまでの復習や自分がミスしやすい問題を固めることを中心に学習すること。
- ☆残された時間にあれもこれも詰め込み過ぎずに、全教科のバランス、得意、不得意などを考え合わせて優先順位をつけ計画を立てること。

文科相「一斉休校考えず」

新型コロナ 共通テストも予定通り

【共同通信】文科相は14日、24日の閣議後記者会見で、新型コロナウイルスの感染拡大を受けて一斉休校の考えはないと述べた。また、共通テストも予定通り実施する方針だと強調した。

文科相は「一斉休校は必要ない」と述べ、感染拡大防止策の留保を強調した。

文科相は「一斉休校は必要ない」と述べ、感染拡大防止策の留保を強調した。

最新の情報をチェック

現時点で、文部科学省は感染予防を徹底した上で、予定通り共通テストを実施する方向を示しています。新たにマスク着用を必須とすることなど、追加される注意事項も多いので、12月にも実施されることとなったセンター受験事前指導での話をしっかりと聞き、「受験上の注意」を熟読しておきましょう。

社会安全学部を持つ関西大学は、以前に危機管理の一環として、事態の変化に応じて入試を延期する可能性を提示しましたが、あくまでも今後の状況が大きく変わった時への対応ということなので、今は、しっかりと実力をつけることに専念しましょう。今後入試方法が変更になるケースがあったとしても、実力を蓄え、必要な情報を把握していれば慌てることも不安に思うこともありません。

神戸新聞 2020.11.24

【1・2年生…2・3年0学期の過ごし方】

進路に対する具体的なイメージを持つ。

① 「探究」の授業を活かして自分が学ぶ学問、将来の仕事にイメージしましょう。…1年生は、探究の授業で書いた志望理由書を思い出し、より具体化するために調べなければいけないこと、進路実現のために今何をしなければいけないかなどの課題に取り組みしましょう。2年生は探究で調べた興味のあることをもとに自分が大学でどんなことを学びたいか、そして、その学んだことを生かしてどんな仕事に就きたいかをより具体的に考えましょう。

※新聞は進路についての考えを深める大きなヒントになります。(神戸新聞 2020.11.21)

② SDGs について調べてみましょう…大学で学びたいことや将来の仕事で、どのように社会に貢献し、問題解決につなげていくことができるかを考えてみましょう。

【参考】

- ・SDGs とは？17の目標って何?? <https://sdgs-navi.com/whatsdgs>
- ・ユニセフ SDGs クラブ SDGs 17の目標 <https://www.unicef.or.jp/kodomo/sdgs/17goals/>

③ 大学について調べてみましょう…各大学のHPにアクセスして、学部・学科、そして講義の内容、ゼミの活動などを調べてみましょう。もちろん、受験科目・受験方式についても調べてみることも。自分の個性を生かす入試方式が見つかるかも。気になる情報があれば、担任の先生とも相談していきましょう。

授業中心の学習で基礎力を身につける。…「学問に王道なし」

これまで、「合格体験記」から先輩の勉強方法を紹介してきましたが、皆、日ごろの授業の予習・復習、小テスト、定期考査、模擬試験を活用して実力をつけてきました。新しいことに手をつけるのではなく、普段の取り組みを充実させることが一番大事です。

神戸大学文学部の先生方が、それぞれの専門の分野の視点から現代的な問題にアプローチしています。

21世紀の人文科学

理不尽な国家権力を裁く

科学

量子コンピューター実現は？

世界で熱帯帯の開発競争 手法はまだ定まらず

理系についても、最先端の研究や、研究者の専門分野について特集しています。

【奇跡を起こす三つの方法③…楽な道を選ばない(最後まで粘る)】

今回は、後期まで頑張って合格した先輩たちの体験記を紹介します。彼女たちの勝因は、まさに最後の最後まであきらめずに粘りぬいたことだと思います。彼女たちは、大学合格の栄冠だけでなく、何ものにも代えがたい財産を手に入れました。それは、自分を信じて努力する力、大きな壁を乗り越えた自信です。この財産は彼女たちの一生を支え、さらなる飛躍を後押ししてくれると思います。

私は中期、後期の受験で公立大学に合格しました。実を言うと前期試験だけでなく、私立大学の試験にも全部落ち、浪人まで覚悟した3月末の合格でした。不合格通知を見るたびに悔しく、苦しい時期もありましたが、今、振り返ってみると受験生活は楽しいものですし、前期だけであきらめずに後期まで粘ってチャンスを増やすことをオススメします。

まず、後期試験は高倍率で時には10倍以上のところもありますが、実際に足を運ぶと空席が多く後日「実質倍率は3倍でした」という発表があったりもします。これは前期試験合格者が欠席するからです。地方公立大学の中期、後期試験は狙い目なので、出願はもちろん、「早く受かるから推薦か私立大学にしよう」と妥協はせずに、最後まで受験してください。

私は受験生になって初めて「最後の最後まで努力する」ことを経験し、自信を持つことができました。受験生活で人としても成長できたように感じます。後期試験まで受験してもしなくても、新3年生のみなさんがあきらめずに目標を貫き、志望校に合格できるよう、そして受験生としての経験を通して、成長できるように応援しています。

(下関市立大学・経済学部・国際商学科 71回生 A.S)



私は高校2年生の時に国公立大学の看護学部を目指すと決めました。しかし、思うように模試の偏差値が伸びず、国公立大学を目指せる成績ではありませんでした。11月に国公立大学の推薦に挑戦し何度も面接や小論文の練習を繰り返しましたが、結果は不合格でした。周りの友達がどんどん大学を決めていく中で、私は全く大学が決まらず、ひたすらセンター試験の勉強をするしかありませんでした。

しかし、焦るばかりで落ち着いて勉強できず、センターの結果は国公立大学を目指せる点数に届きませんでした。でも、ここまで国公立を目指して受験勉強に取り組んできたのだから、結果はどうあれ最後までやってみようと思ひ、前期も後期もD判定の大学に出願しました。センター試験の後に私立大学には合格することができましたが、悔いの残らぬよう最後まで挑戦しようと思ひました。二次試験に向け卒業式の後にも毎日学校へ行き、何度も先生方に指導をしていただきました。二次試験には小論文と面接があり、苦手な小論文も毎日学校で先生方に指導していただき、二次対策を続けました。

やはり、前期に出願した大学は不合格。心が折れかけましたが、ここまで来たらやるしかないと思ひ直し、後期二次試験に向けても毎日学校へ行って勉強しました。

そして、本番ではできる限りのことをし、ついに後期に出願した大学に合格することができました。自分でも受かると思っていなかったのととても驚きました。その時、諦めなければ達成できることもあるのだと実感しました。更にその1週間後には前期受験した大学から追加合格の連絡まで来ました。私は後期に受けた大学へ進学すると決めましたが、まさか追加合格の連絡まで来るとは思ってもいなかったのと、とてもびっくりしました。

今、私は諦めずに最後まで挑戦し続けて本当によかったと思っています。周りに流されず、自分の目標だけを見てまっすぐ突き進んできたことが合格に繋がったと思っています。やはり、自分の成績が伸びず、周りがどんどん大学を決めていった時はとても焦りました。しかし、後悔しないように最後までできることはやろうと決めていました。

受験を通して、どんなことがあっても諦めずに挑戦していく気持ちが大切だと身をもって感じました。これから受験を迎える人には、辛いこともたくさんあると思いますが、目標があるのなら最後まで諦めず後悔のないように挑戦し続けてほしいと思います。

(石川県立看護大学 看護学部 看護学科 72回生 H.K)



【④ 番外、受験は自分を鍛える最大のチャンス】

ニューギニアでは鮫を素手で捕らえることで成人として認められるという、厳しい通過儀礼があると聞きます。受験勉強は、ある意味通過儀礼であり、自分を鍛える大きなチャンスでもあります。72回生 H.K さんや71回生 A.S さんのように、自分の力を精一杯伸ばしきった自信、受験勉強に耐えた力を得て、君たちは人間として成長していくのです。大学や社会で更なる困難に遭った時、受験の際辛い思いをした人ほど、「あの時あれだけ頑張れたのだから…」と思ひ、その壁に立ち向かうパワーもわ

いてくるはず。ラクに受験を通過した人間は、その大きな壁を乗り越えねばならない時、非常に苦しいと感じるでしょう。だからこそ、君たちに今、とことん辛い思い、苦しい思いをしてほしいと思います。

そして、なによりも大学合格はゴールではなくスタートラインだということを忘れないで下さい。合格すればそれで終わりではなく、そこから更に君たちの夢を実現するための旅が始まるのです。



いいかも

地方公立大学…先輩が進学した公立大学の紹介

福知山公立大学(京都府福知山市)

…情報学部(情報学科)
地域経営学部(医療福祉経営学科)
地域経営学科→公共経営系・企業経営系・交流観光系)

山陽小野田市立山口東京理科大学(山口県山陽小野田市)

…工学部(機械工学科、電気工学科、応用化学科)、薬学部(薬学科)

→進路指導室前に掲示しています。

